

第4回有田内山グランドデザイン検討委員会議事録

本日の議題

日	時	令和3年8月26日(木) 14時00分～16時10分
場	所	庁舎別館3階 西公民館
参加者		深川祐次 百田憲由 大坪康敏 篠原祐美子 上野菜穂子 清水耕一郎 (松岡恭子) オンライン 浜野貴晴 宮原真美子 松尾佳昭 木寺寿 鷺尾佳英 多賀和弘 山口睦
資料		1・2・3・4

内 容

第4回有田内山グランドデザイン検討部会の内容報告について

	(浜野)	<u>資料1</u>
これまでの課題整理及び施策(案)について	(役場)	<u>資料2</u>
跡地活用(札ノ辻周辺)について	(清水)	<u>資料3</u>
跡地活用(札ノ辻周辺)について 佐賀大学	(宮原)	<u>資料4</u>

清水 有田内山地区の真ん中には、こうゆう物が欲しいなと言うご意見を
お願いしたい。

百田 資料は非常にいいまとめ方がされていると思います。
宮原先生のお話はワクワクする提案がされていると思います。
実際住んでいる方々と来られる方々、そこには住んでいないけれど町
内に住んでいる方々などで、いい感じに内山地区がまとまっていきな
がら、人が集まる様な町になっていけばいいのかなと思っています。

清水 ワクワクされるもので、何をしたらいいのかが問われているのでは
ないでしょうか。どんなものが真ん中にあればいいのでしょうか。

深川 商工会議所の跡地は、行く行くは駐車場かなと思っています。
駐車場に機能を付けて、1階2階は駐車場、その上は何か施設を作っ
てもいいと思います。

佐賀銀行は壊して、陶山神社への参道を広げたいなと思っています。
今、道が狭くて車が離合しにくい。ここも、駐車場がいいのかなと思っ
ています。奥の映画館跡地も含めて参道を広くすれば、陶山神社もクロ
ーズアップされるのではないかと思います。もしくは、佐賀銀行の奥の

3階建てと1階の窓口だけ残して計画するとかできないだろうか。

そこに働く場所として、シェア工房ができないか。

学生が卒業しても地元で就職先が無い。

そういう方々に支援工房ができないかなとまちづくり公社が考えているので、場所的に一番いいと思う。

ですから、佐賀銀行の一部を残してシェア工房がいいかなと思います。

清水 陶山神社の参道が整備されたら、神社に行きやすくなるし、陶山神社が浮かび上がると思います。佐賀銀行は既存利用か解体か、まだ確定していないので、どちらでの提案もあった方がいいかなと思います。真ん中で、観光でもないし、暮らしでもない、その両者のバランスがとれるようなものはできないか。

深川 窓が大きいので、外から見てもいい感じですよ。

上野 活動テーマの一つに「ハレとケ」があり、日常と非日常で、有田はハレの要素が強いのかなと思っています。有田に住んでいて日常に特徴があり面白いと感じる。その、日常部分を大切にしたら何か見せ方がいいのでは、両方のバランスをとれるような施設がいいですね。相談に来られる方の中に、工房付きの住まいとか希望される作家さんがあり、佐賀銀行の跡は、地元の方と観光客とが融合出来るような施設があればいいかなと思います。

清水 具体的には？

上野 白川の方にコリビングスペースの計画をしている物件があります。それは、住みながら、その暮らしを体験しながら、働く事もできる。そこでは、イベントを開催して、色々な人と出会えるスペースとなり、地元の人達も一緒に参加できる。それと同じように、観光客だけではなく、地元の人と交わる様な施設が必要かなと思います。

浜野 内山地区のど真ん中であって、外から来る人と内の人達に有効活用されるべきだと思います。学生さんの発表は地元の人達の活用より、外からの活用の要素が大きいかと思います。

観光がメインの町になるのか、町の人との交流をふくんだ観光になるのかで、建物の中に入ってくる要素が異なるので、だれにとっての機能性を重視するのかと言う話をしておかないと進めにくいと思う。いきなり20年後で町が変わるわけではなく、短期、中期、長期の視点で何

が必要かと考えなければならない。

若い人はいきなり入ってきて暮らすとなると、ハードルが高いので、短期間暮らしを経験するのもいいと思う。

ステップアップできる暮らし方も面白いのではないかな。人が集まってくる町になる施設の在り方を考えてもいいのではないかな。

清水 生活暮らしを重視する町になるのか、観光を重視する町になるのか。有田は生産地と商業の両方が上手く成り立っている町です。どうやって自分たちの暮らしの中で、他にないような事を体験できるようになるのか、みんながスタートラインに立って考える事だと思います。そういうことで、中での暮らしと外からの人が融合する、そういう町にしていきたいなと思います。

そうなりたいと言うビジョンを描いて進んでいく、生活も変わっていく、生産も変わっていく、仕事の仕方も変わっていくと思っています。

真ん中はそれを企業する様な物があればいいと思う。

大坪 先程の、図書館は学びの場としていいと思います。以前、窯業の事であれば、何でも分かる特化した図書館を提案した事があります。20年くらい前、焼き物を学びに来る人の宿泊が難しい問題でした。一つの作品作るのに1月くらいかかる。貸し工房を考えました。生地やさん、型屋さんなど、焼き物が出来ていくプロセスのそれぞれに工房を貸していく。人によってやりたい事が違うと思いますので、体験することで定住してくれる人が増えてくるとと思います。

ただ、地理的に内山地区の真ん中は高齢化が進んでいるので人口減少が加速しないようにカバーしてもらいたい。

観光はコロナ禍前にもどらないと思います。今慌てて決めなくても、少し様子を見るくらいのもりでないと、非常に難しいと思います。

参道を広くすると新しい建物が出来ますので、そこに若い人が定住するとかできるのではないのでしょうか。

内山地区の道路状況や防災などから総合的に考えて欲しい。

住む人達が主人公である事から考えて欲しい。

篠原 ① 佐賀銀行の跡地利用ですが、壊さないでほしいなと思います。

前の旧佐賀銀行は観光資源となるようなカッコいいのがあって、50年後に同じ様な事があるのかなと思います。

② 母親の視点から、移住定住に関連した話ですが、以前学校でのトラブルの為に、外へ出て行った子供たちが有田に戻ってこないだろうかと思った。

教育環境にもう少し力を入れていただきたい。

充実した子供時代があり、有田はいい所だと思ったら、他の人を連れて戻ってくる。

③ 仕事の話ですが、どちらかと言うと作家さんよりの話が多かったのではないのでしょうか。職人さんの高齢化で新しい職人さんが育たないので、特殊な職人さんの働き手をシェアするような所があったら助かると思っています。有田は昔から女性もバリバリ働いている環境にあり、細かい時間設定などでマッチングして仕事に来てもらえる組織があったら助かると思います。

④ 商工会議所跡地は公園にしてほしい。道路から入っているので、朝からヨガをしたり、軽トラ市もできると思います。芝生で転んでも怪我しない様な広場があればいいと思います。

清水 特殊技能を持った職人さんをシェアできるようになったら良い。一社ではそれを育成するのは大変という事ですね。

ヨガとか農産物は公園でなくてもいいですね。

篠原 上有田地区は公園がないので、ほしいです。

清水 道路拡幅して、町の壁面線が揃ってきれいな景観が出来た。それを、伝建地区の保存をしようと活動した。

宮原 日常生活を取り入れる事も考えましたが、非常に難しいと思いました。検討委員会の資料ですが、分かりやすいようで、分かりにくいようで、分かりやすい気がします。施策ですが、移住と生活などに分けずに掛け合わせて考えるとかがイメージが湧くのではないのでしょうか。たとえば、「学ぶ」と書けば本で学ぶ・見て学ぶ人もいるし・手を使って学ぶ人もいて、資料の施策の言葉を変えるのは可能ですか？

木寺 施策ですが、リンクが2つありますが、移住と生活は切り離せないと思いリンクで表しています。最終的には文字の表現と図示の表現と工夫する必要があると思います。有田内山地区は公共施設として、赤絵座がある、ろくろ座がある、体験工房がある、観光協会があるので、札ノ辻周辺にどのような施設を有するのかとか、そのような議論をお願い

したいと思っております。

清水 施策の中の言葉にワクワク感を出してほしい。

アイデアを膨らますことが出来るような施策の呼び方がいいのでは。

松岡 資料2で出ている意見などは、何かアクションを起こすに当たって難易度が何段階かある気がする。すぐチャレンジ出来るものと、廻りを巻き込まなければいけないものなど、難易度を整備してみたらいいのではと思います。目標値の設定を数値化してはいかがかなと思います。例えば、内山地区の空き家が平成20年度の調査で17%となっていますが、住んでいらっしゃる人が1人なのか家族なのかと数値化してはいかがですか。

意見の中にあります事を何年までにすると言う目標値の設定をしてやってみたらいいのではとの提案です。

清水 資料の中を少し整理したらいいなと思いました。

篠原 トラックの迂回路ですが、ウエストの道路からバイパスに繋げる計画は進んでいるのですか？

松尾 進んでいます。用地買収の段階です。

清水 それが完成すると内山地区の交通量が相当違うと思います。

深川 出来るだけ、内山地区は通らないようにしてほしい。

浜野 検討部会で、住んでいる人が大型車が通る振動を感じていて、伝統的建造物に振動を与えている事は文化財的にはどうでしょう。

清水 そこに住んでいる人は怖いですね。

浜野 言葉にすると言うことで、「観光」でも皆さんそれぞれにイメージが違うと思います。そのイメージを共通にしておかないと考える事が変わるのではと思っています。「泊まる」でも色々なイメージが出てくる。このように、含みを持たせる表現は可能性を感じます。

町長 佐賀銀行を起点に生活型、歴史、伝統、産業が凝縮された通りなので、皆さんと議論しながら取り組んでいきたいと思っています。

私は100年後を見て、何処を目指すのか判断してほしいと思います。

松岡さんの提案で、すぐできる事、1年後にできる事などきちんとした目標で動かないといけないのかなと思います。

挑戦をしながら、歴史と伝統の中に織り込んでいくのが有田内山だと思います。

百田 販売がアリタセラに移ったこともあり、町の中に産業と生産地を求めなくてもいいと思います。

住む人と観光をメイン考えてもいいのではないのでしょうか。

また来たいと思いたくなるような事が出来たらいいと思います。

清水 あの町並みがあるから、ここで仕事をしたいと思う事もあるのではないのでしょうか。クリエイターが集うような新しいことが出来たらいいと思います。その為には、どんな事を準備しておかないといけないのかが問われると思います。

清水 次の会議は目標値を設定して、行動を難易度などで表して、考えたいと思います。

木寺 次回の会議は10月の中旬に開催したいと思います。

確認印
